

(別添2-10)

通信学習実施計画書

1 講義を通信の方法によって行う地域

・大阪府全域、京都府全域、兵庫県全域、滋賀県全域、奈良県全域、和歌山県全域

2 添削指導の方法

・自宅学習期間の質問方法

質問はFAXもしくはメールによるものとする。

添削担当講師：別添カリキュラム参照

FAX番号 072-697-5307 メールアドレス ut_ikesaka@hotmail.co.jp

〒569-0852 大阪府高槻市北柳川町2番6号

医療法人仁寿会 介護施設 円珠

3 科目別通信学習時間

科目番号・科目名	通信学習時間	通信形式で実施できる上限時間 (別紙3より)
(2) 介護における尊厳の保持・自立支援	5時間	5時間
(3) 介護の基本	3時間	3時間
(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携	7.5時間	7.5時間
(5) 介護におけるコミュニケーション技術	3時間	3時間
(6) 老化の理解	3時間	3時間
(7) 認知症の理解	3時間	3時間
(8) 障がいの理解	1.5時間	1.5時間
(9) こころとからだのしくみと生活支援技術	12時間	12時間

4 通信学習課題配布・提出標準日程

添削課題は3回に分けて配布する。

なお、第1回目の配布日は開校式の日到手渡しする。2回目以降は講義の際に手渡しする。

5 通信学習課題

- ①課題種類数 8種類
- ②出題形式 ○×問題 112問 記述式 12問 全124問
- ③出題数 「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」 9問 (○×8問、記述1問)
「(3) 介護の基本」 10問 (○×9問、記述1問)
「(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携」 15問 (○×13問、記述2問)
「(5) 介護におけるコミュニケーション技術」 10問 (○×9問、記述1問)
「(6) 老化の理解」 6問 (○×5問、記述1問)
「(7) 認知症の理解」 6問 (○×5問、記述1問)
「(8) 障がいの理解」 6問 (○×5問、記述1問)
「(9) こころとからだのしくみと生活支援技術」 62問 (○×58問、記述4問)

6 評価基準

通信添削課題については、ABCDの4段階評価とし、各科目C以上を合格とします。

- ・A (よくテキストを学習でき、優れた理解ができています。)
- ・B (不足のない理解はできているが今後の自己学習に期待したい)
- ・C (やや不足はあるも合格基準に達する理解はできている)
- ・D (理解に不足があり再学習が必要)

7 通信添削業務受託事業者

(1)

(2) 委託先研修機関

法人名称		
所在地		
連絡先		
ホームページ		
指定番号		
研修実績	研修実施期間	平成 年 月 日～平成 年 月 日
	コース名	
	修了者数	名
委託契約期間	平成 年 月 日 から 平成 年 月 日まで	

※委託期間は1事業年度内(4月1日から翌年3月31日までの間)とすること。